

8-3-9 業務システム委員会

1. 主な活動の記録

(1) 業務システム委員会の開催

委員会開催回数：令和 7 年度は 10 回（4 月～3 月）対面・Web 会議の併用で実施した。

(2) 業務システム委員会の組織

業務システム委員会は、コンサルタント業務の形成・選定・契約・実施の各段階における諸課題の整理、解決策の提案、実行に関することを目的に「選定・契約専門委員会」「業務形成・実施専門委員会」から構成される。

(3) 委員会の活動

企画部会、各専門委員会や、関連する対外活動委員会、未来塾 WG、地域コンサルタント委員会からの要請に合わせて目的達成のための検討方法、成果のイメージ、改善方法などを議論し、各専門委員会と委員会が連携して実態把握のための調査と解決策の提案を行った。

また、業務評定点格差是正、表彰実態調査は委員会による重要な継続調査テーマとして令和 6 年度業務について、各支部に国土交通省開示の地整別業務評定点の平均値と表彰の実態、その運用について調査し、白書に掲載した。

a) 選定・契約専門委員会

- ・ 技術力による選定拡大の推進：平成 9 年度の発注案件から継続的に実施しているプロポーザル、総合評価の調査で令和 6 年度の契約業務分を例年どおり実施した。技術競争を導入している先進自治体の検討結果を取りまとめた。
- ・ 地方自治体の入札契約方式に関する実態調査：平成 17 年度より継続して都道府県、政令指定都市を対象とし、令和 6 年度業務の入札契約方式に関わる諸制度を調査した。
- ・ 国交省の落札結果の分析：各地方整備局公表データをもとに令和 7 年度発注業務を対象に分析を実施し、発注状況や落札率の実態並びに総合評価方式の課題及び、業務評定点、業務表彰について整理した。
- ・ 建コン協の DX 推進（業務効率化の促進）：入札・契約段階、納品段階の作業・書類の完全

電子化に向けた現状の課題を整理した。

b) 業務形成・実施専門委員会

- ・ 契約時期と納期月に関する調査：改善提案に対する業務の契約月、納期月の平準化の状況を確認するため、令和 6 年度業務を対象に傾向を整理しシミュレーションを行った。また「要望と提案」資料として取りまとめた。
- ・ 設計変更ガイドラインの運用実態調査：標記制度や各地整の補足資料の活用状況、課題や困った点などについて各支部及び委員会内企業を対象に実態調査を実施した。
- ・ 若手・女性技術者の活用実態調査：人材育成を目的とした試行運用が拡大してきた当該制度について各地整の運用実態を調査し、望ましいあり方について検討、提案した。

2. 他委員会への参加と検討

(1) 他委員会との連携

委員長は企画部会へ出席し活動報告を行った。対外活動委員会、地域コンサルタント委員会、常任委員会、未来塾ワーキング、地位向上委員会へ出席し活動を行った。国交省技術調査課との会議へ出席し「納期の平準化」「業務評定点制度」「電子入札制度」の課題等を協議した。

(2) 関連作業

- ・ 各専門委員会で作成した令和 7 年度の「要望と提案」「白書」「新中期行動計画」に関する作成資料、執筆原稿の総括を行った。
- ・ 令和 7 年度の未来塾ワーキングでの検討・提案の経過を踏まえ、DX テーマ 1 についての建コン協会の白書（案）を作成した。

3. 次年度の活動について

令和 8 年度の「年次計画」「新中期行動計画」にしたがって、企画部会、未来塾ワーキング、各専門委員会と協働して業務システム委員会 10 回を実施する。

また協会が主催する「ブロック別の意見交換会」「支部・本部意見交換会」についての必要な資料については協会事務局と調整しながら作成する。

（業務システム委員会委員長 飯沼 達夫）